

PRODUCT / CONSULTING-GRADE PPTX SKILL

slides-maker

■
コンサル品質のスライドを、会話で。

a Claude Code skill, engineered by aurant technologies.

FOR

クライアント向け配布資料

TYPE

プロプライエタリ・スキル

BUILT ON

Anthropic Claude Code

STATUS

Production / 運用中

CONTENTS

目次

I	課題提起	AI 生成スライドの3つの病	03 - 04
II	解決策	3層アーキテクチャと哲学	05 - 07
III	設計体系	10論理型 / 8フレームワーク	08 - 10
IV	デザイン体系	色・タイポ・余白の規範	11 - 13
V	ベンチマーク	公式 pptx との差分	14
VI	実装サンプル	実際に生成されるスライドの例	15 - 22
VII	運用	ワークフロー / 制作元 / お問い合わせ	23 - 25

I / THE PROBLEM

AI が作るスライドは、 なぜ「ダサい」のか。

01

情報密度が低い

全画面の半分以上が空白。重要事項が分散し、論点が立ち上がらない。

02

色を使いすぎる

5色6色のカラフル装飾。強調が機能せず、視線がさまよう。

03

形が思考と合わない

言いたい論理関係(時系列・因果・構成比)と図の形が一致しない。

INSIGHT

根本原因は、「スニペットに当てはめる」発想にある。

I / THE PROBLEM

「ダサイ」は、構造の問題。

典型的な NG パターンと、slides-maker が出力する形を見比べる。

NG 典型的な AI 生成

当社の戦略

項目1

項目2

項目3

項目4

- 全方位で取り組む
- 顧客満足を高める
- グローバル展開

× 色が4色超 × 見出し下線 × 中身が抽象的 × 余白スカスカ

OK slides-maker の出力

3つの戦略課題と、注力すべき1点。

○ コスト構造
継続改善

◎ 製品戦略
最重要

○ 販路拡大
並行推進

○ 強調は1箇所 ○ ◎○△で優先度 ○ 白基調・抑制 ○ 情報密度が高い

色を増やすより、構造を選ぶ。これが品質の出発点。

II / THE SOLUTION

aurant が構築した、独自スキル。

Anthropic 公式 pptx の上に、コンサル現場の知見を体系化して積み上げた。

LAYER 1

Claude Code

Anthropic 公式の AI コーディング環境(基盤)

LAYER 2

anthropic-skills:pptx

公式提供の標準 PPTX スキル(共通基盤)

LAYER 3 — by aurant

slides-maker

コンサル品質スライド生成スキル

**論理 → ビジュアル
変換**10 の論理型で形を選
定**デザインシステム**抑制された色設計と余
白**QA チェック内蔵**納品前の自動セルフ検
査

II / PHILOSOPHY

メッセージが、形を決める。



「このスニペットに当てはめよう」ではなく、
「このメッセージの論理型に合う形は何か」から始める。

— *slides-maker, core principle.*

NG

スニペット索引から始める

NG

似た図形にデータを当てはめる

NG

MECE分解できる形に押し込む

II / PHILOSOPHY

3 ステップの思考法。

形から発想しない。論理から発想する。









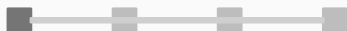



「形を選ぶ」工程を独立させたことが、品質の決定要因。

III / FRAMEWORK

10 の論理型で、すべての伝達を体系化。

メッセージの構造を10通りに分類。それぞれに最適なビジュアルがある。

<p>T1</p>  <p>時系列 <i>Timeline</i></p>	<p>T2</p>  <p>構成比 <i>Composition</i></p>	<p>T3</p>  <p>対比 <i>Comparison</i></p>	<p>T4</p>  <p>因果 <i>Causation</i></p>	<p>T5</p>  <p>合流 <i>Convergence</i></p>
<p>T6</p>  <p>分岐 <i>Divergence</i></p>	<p>T7</p>  <p>マトリクス <i>2x2 Matrix</i></p>	<p>T8</p>  <p>階層 <i>Hierarchy</i></p>	<p>T9</p>  <p>プロセス <i>Process</i></p>	<p>T10</p>  <p>関係 <i>Network</i></p>

III / FRAMEWORK

8つの戦略フレームワーク。

論理型と組み合わせて、定番の戦略フレームを即座に呼び出し可能。

F1

2x2 Matrix

BCG / リスク・優先度・象限分析

F2

Pyramid

Maslow / 戦略階層・組織・段階

F3

Process Flow

業務フロー・購買行動・施策手順

F4

Roadmap

中計・ローンチ・段階的展開

F5

SWOT

強み弱み機会脅威の構造分析

F6

Funnel

獲得→検討→購買→継続の段階

F7

Comparison Table

競合比較・選択肢評価・◎○△

F8

Org Chart

体制図・推進構造・役割定義

論理型 × フレームワーク = 戦略資料の表現可能領域を網羅。

III / FRAMEWORK

再利用可能な、コードスニペット集。

動作確認済みの実装パターンを50+ 種搭載。スキル自体が継続的に学習・成長していく。

LIBRARY STATS

50+

スニペット

10

論理型

8

フレームワーク

274

分析テンプレート

WHAT'S INSIDE

タイムライン

横ガント / 縦フェーズ / マイルストーン

マトリクス

2x2 / 3x3 / 評価表 / 優先度マップ

階層図

ピラミッド / 組織図 / ツリー

プロセス

矢印フロー / ファンネル / ステージ

データビズ

棒・線・円・ドーナツ・複合

強調パターン

インサイトBOX / KPIタイトル / 注目セル

IV / DESIGN SYSTEM

抑制こそ、品質。

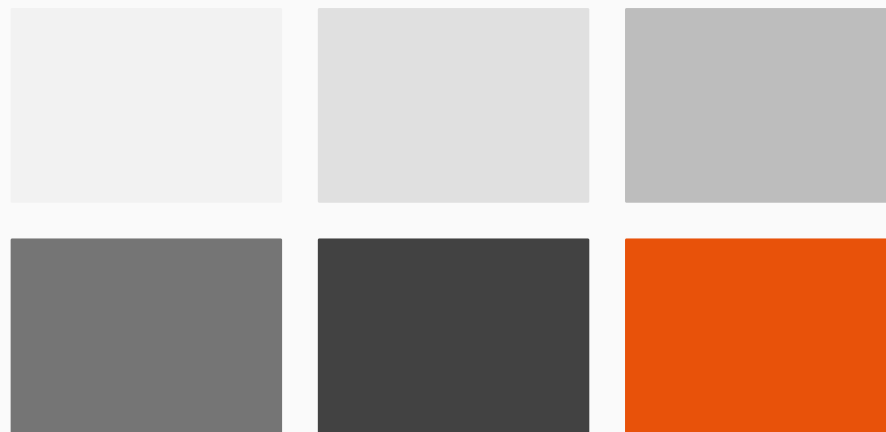
Restraint is Quality. — 装飾を引き算することが、品質の出発点。

過剰な色設計 (NG)



× 強調が機能せず、視線が分散する

抑制された色設計 (OK)



○ 1色の強調が「最重要」を確実に伝える

色を増やすほど、強調は弱まる。

IV / DESIGN SYSTEM

カラーパレット。

グレースケール 8 段階 × オレンジ 4 段階 = 12 色のみ。

GRAYSCALE



Black

#1A1A1A

本文・見出し

G800

#424242

強調見出し

G600

#757575

サブテキスト

G400

#BDBDBD

補助線

G200

#E0E0E0

ボーダー

G100

#F2F2F2

カード背景

G50

#FAFAFA

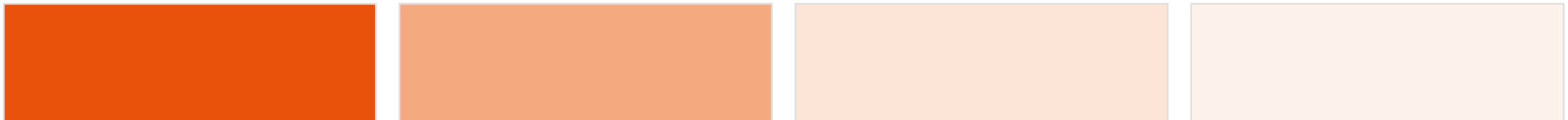
交互行背景

White

#FFFFFF

ベース

ORANGE — accent (use sparingly)



Orange

aurant-technologies.com
#E8520A — 最重要・1~2箇所のみ

Orange Mid

#F5A97F — サブ強調

Orange Pale

#FCE4D6 — ◎行・注目背景

Orange Light

#FDF1EB — インサイトBOX
© 2026 aurant technologies

IV / DESIGN SYSTEM

タイポグラフィと余白。

TYPOGRAPHY

H1 — Display

資料タイトル

H2 — Section

章見出し

H3 — Card

カードタイトル

Body

本文・記述

Caption

補助・脚注

Code

コード・数値

SPACING (inch)



LAYOUT_WIDE 13.33 × 7.5

V / BENCHMARK

公式 pptx スキルとの違い。

観点	公式 pptx	slides-maker
キャンバス	10 × 5.625 inch	13.33 × 7.5 inch (情報密度2倍)
デザイン哲学	汎用・無指定	抑制・コンサル品質に最適化
論理 → 図 変換	なし(毎回ゼロから)	10論理型で体系化
フレームワーク	なし	8種内蔵(2x2 / SWOT / Pyramid他)
品質保証	ユーザー任せ	QAチェックリスト同梱
対応領域	汎用スライド全般	戦略・経営・提案資料に特化
カスタマイズ	公式仕様内に限定	クライアントのブランドに対応可

公式が提供する「機能」に、aurant の「設計知」を載せて初めて、配布できる品質に到達する。

VI / SAMPLE 01

実装例 ① — 戦略マトリクス (2x2)

成長率 × シェアでの事業ポートフォリオ。注力象限を◎で明示。

成長率	高	<p>問題児 Question Mark</p> <p>○ 投資判断必要</p>	<p>◎ スター事業 Star — 注力領域</p> <p>◎ 最優先で投資</p>
	低	<p>負け犬 Dog</p> <p>△ 撤退検討</p>	<p>金のなる木 Cash Cow</p> <p>○ 安定収益</p>

INSIGHT

**「スター事業」へ
資源を集中せよ。**

負け犬は3年以内に撤退、金のなる木はキャッシュ供給源として維持。問題児は3つに絞り込み、可能性が立証された時点でスターへ移行する。

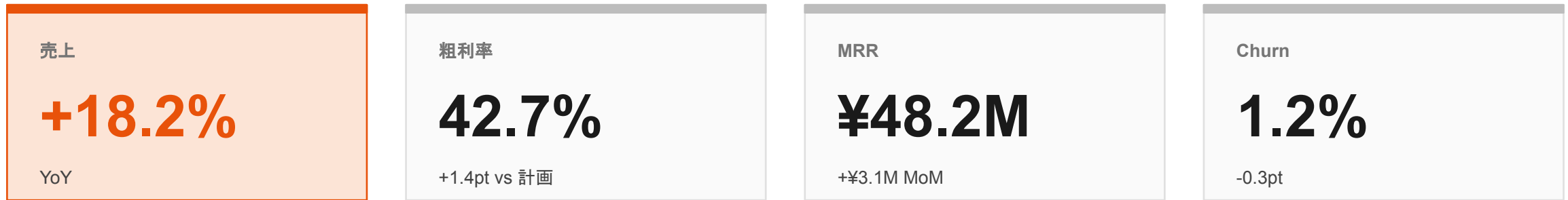
低

高 シェア

VI / SAMPLE 02

実装例 ② — KPI ダッシュボード + ロードマップ

経営会議用月次レポート。当期KPI と中期ロードマップを1枚に。



ROADMAP — FY2026



VI / SAMPLE 03

実装例 ③ — 階層構造 + 結論

ピラミッド構造で「上位ほど少数・重要」を表現。提案・戦略・組織で頻用。



READING ORDER

- 01 上から下へ**
抽象 → 具体。構造的に降りていく。
- 02 数の論理**
上位ほど少なく、下位ほど多い。
- 03 強調は1段だけ**
「最重要層」を1つだけオレンジに。
- 04 濃淡で序列**
色を増やさず、明度で表現する。

VI / SAMPLE 04

実装例 ④ — SWOT 分析マトリクス

DX推進プロジェクトのSWOT。◎/○/△で重要度を即可視化。

S 強み Strengths

- ◎ Claude Code 導入で既存業務が90%自動化可能
- エンジニア不在でも運用できるノーコード設計
- 導入実績:Webメディア・土業・製造業

W 弱み Weaknesses

- △ 初期セットアップに専門知識が必要
- △ モデルアップデートへの追従コストが発生
- △ 複雑業務は人間の判断が依然必要

O 機会 Opportunities

- ◎ 生成AI市場 2027年に50兆円規模へ拡大
- ChatGPT普及で社内AI推進の追い風
- 競合他社より12~18ヶ月早い導入余地

T 脅威 Threats

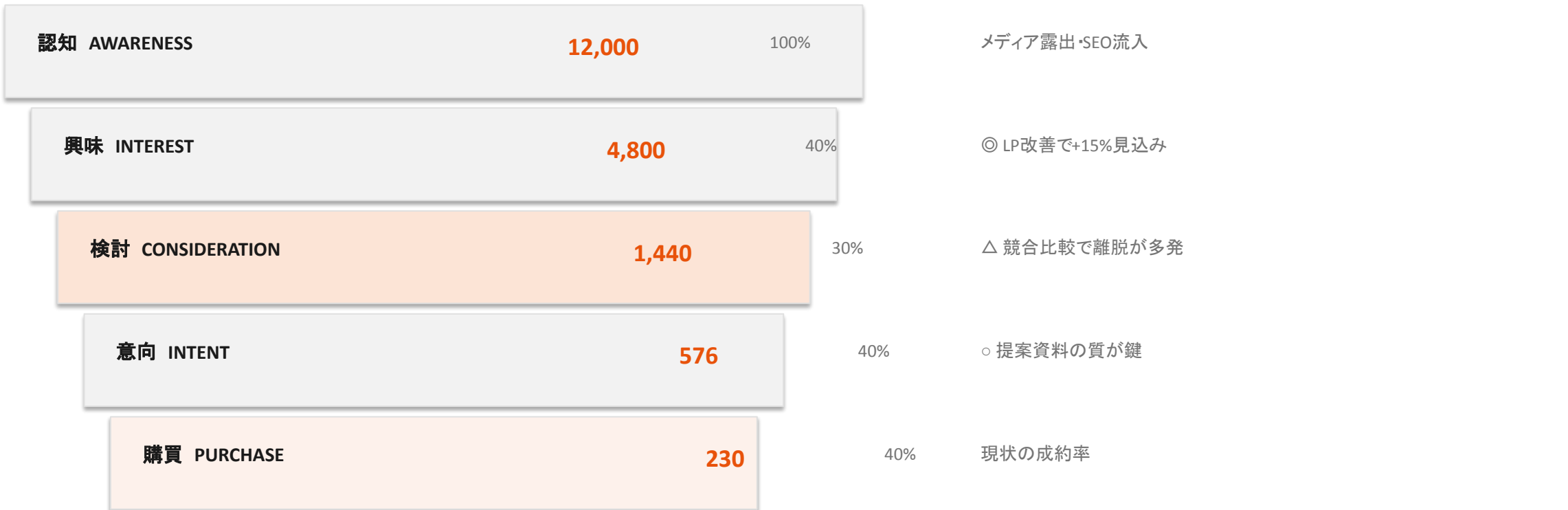
- △ 大手SIerが同様サービスを低価格で投入予定
- △ AI規制強化でデータ利用ポリシー変更リスク
- △ 人材確保コスト上昇(AI人材の競合激化)

INSIGHT 強みと機会の交点(SO戦略)に最大リソースを投下。Claude Code 自動化を製品化し、先行者優位を確立する。

VI / SAMPLE 05

実装例 ⑤ — 購買ファンネル × 離脱要因分析

各ステージの転換率と離脱原因を一覧化。改善優先順位を◎○△で明示。



INSIGHT ◎ 検討ステージの離脱(70%)が最大ボトルネック。LPと比較資料の改善で全体 CVRを1.5倍に改善できる。

VI / SAMPLE 06

実装例 ⑥ — 中期ロードマップ × マイルストーン

Claude Code 全社展開の3フェーズ計画。担当・完了基準・KPIを1枚に集約。

Phase 1 Q1 — Q4

基盤整備 & PoC

施策

- 自動化対象業務の特定 (5件)
- Claude Code 環境構築
- パイロット3部署で試験導入
- CLAUDE.md テンプレート整備

KPI

- 工数削減率 > 30%
- PoC成功件数 3件以上

Phase 2 Q3 — Q4

展開 & 標準化

施策

- 全社向けオンボーディング資料作成
- 社内ヘルプデスクBot構築
- kintone / Slack / Sheets 連携
- QAチェックリスト整備

KPI

- 利用部署数 10以上
- 月間自動化タスク 500件以上

Phase 3 FY2027

高度化 & 内製化

施策

- 内製AIエンジニア育成 (2名)
- エージェント型ワークフロー構築
- ROI年次レポート自動生成
- 業界ベンチマーク公開

KPI

- 工数削減 月500h以上
- 外注コスト削減率 60%以上

POINT Phase 1 の PoC で ROI を数値化してから展開判断。3ヶ月で投資回収できた実績を社内説得資料として活用せよ。

VIII / CLAUDE CODE SKILLS SUITE

aurant が提供する、Claude Code スキル群。

slides-maker はスキルスイートの一部。業務領域ごとに専用スキルを提供。

slides-maker

コンサル品質スライド

10論理型×8フレームワーク。プロ仕様のpptxを会話だけで生成。

docx-writer

Wordドキュメント自動生成

提案書・議事録・報告書を自然文で生成。スタイルシート対応。

xlsx-builder

Excel自動化スキル

集計・グラフ・ピボット・条件付き書式を会話で操作。

kintone-agent

kintone業務自動化

レコード作成・集計・Slack連携をMCP経由でノーコード自動化。

seo-content

SEOコンテンツ自動生成

キーワード分析→記事構成→WordPress投稿まで全自動パイプライン。

report-agent

月次レポート自動生成

GA4・Search Console・売上データを集計し、PDF + Slack通知。

★ 各スキルはカスタマイズ対応可。既存ツール・APIとの連携も承ります。

NEXT STEP 無料相談で、あなたの業務課題に最適なスキルを提案します。 → aurant-technologies.com/service/claude-code/

IX / WHY DOWNLOAD THIS

この資料を手に入れた、あなたへ。

本資料を読んだあなたには、今日から使えるフレームワークが揃っています。

01

論理型で スライドを設計する

10の論理型を使えば、「形選び」で悩まなくなります。次のプレゼン前にT1~T10から選ぶだけ。

02

デザインは 引き算で考える

グレースケール+オレンジ 1色のルールを守るだけで、AIスライドの「ダサさ」は消えます。

03

slides-maker に 任せる

自分でゼロから作る必要はありません。会話で依頼するだけでコンサル品質のスライドが出来ます。

TAKEAWAY 形・色・論理 — この3点を押さえるだけで、スライドの品質は劇的に変わります。

VII / WORKFLOW

導入から納品までの流れ。

クライアント側の作業は最小限。AI が大半を担う。



VII / ISSUER

制作元について。

aurant
technologies.

an AI consultancy that ships.

Tokyo / Remote

aurant-technologies.com

事業領域

Claude Code 導入支援 / 業務 AI 構築 / SEO 自動化

強み

実装 × コンサルの両輪。机上ではなく現場で検証。

体制

エンジニア兼コンサルタントが直接担当

実績

Web メディア / 土業 / 製造業 ほか

独自資産

slides-maker / brand voice / SEO 自動化スキル群

VII / GET IN TOUCH

導入・運用支援は、 お問い合わせください。

aurant technologies — your partner for shipping AI.

WEB aurant-technologies.com

SERVICES Claude Code 導入支援 / SEO 自動化 / 業務 AI 構築

THIS DECK 本資料は製品お問い合わせ時にダウンロード可能

SKILL slides-maker は受託プロジェクト時にカスタマイズ提供